

みずほCustomer Desk Report 2020/11/09 号(As of 2020/11/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	103.69
TKY 9:00AM	103.60	1.1816	122.39	1.3140	0.7262		
SYD-NY High	103.76	1.1891	122.97	1.3177	0.7289		
SYD-NY Low	103.18	1.1796	122.25	1.3094	0.7239		
NY 5:00 PM	103.35	1.1877	122.72	1.3150	0.7261		
NY DOW	28,323.40	▲ 66.78	日本2年債	-0.15	▲ 1.00bp		
NASDAQ	11,895.23	4.30	日本10年債	0.02	0.00bp		
S&P	3,509.44	▲ 1.01	米国2年債	0.154	0.60bp		
日経平均	24,325.23	219.95	米国5年債	0.360	3.19bp		
TOPIX	1,658.49	8.55	米国10年債	0.819	5.39bp		
シカゴ日経先物	24,340.00	65.00	独10年債	-0.6180	1.80bp		
ロンドンFT	5,910.02	3.84	英10年債	0.2740	4.05bp		
DAX	12,480.02	▲ 88.07	豪10年債	0.7670	1.50bp		
ハンセン指数	25,712.97	17.05	USDJPY 1M Vol	6.60	▲ 0.05%		
上海総合	3,312.16	▲ 7.97	USDJPY 3M Vol	6.80	0.02%		
NY金	1,951.70	4.90	USDJPY 6M Vol	6.98	0.10%		
WTI	37.14	▲ 1.65	USDJPY 1M 25RR	-1.13	Yen Call Over		
CRB指数	147.699	▲ 1.46	EURJPY 3M Vol	7.35	▲ 0.03%		
ドルインデックス	92.23	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	7.65	0.04%		

東京	東京時間のドル円は103.60レベルでオープン。3月以来の安値圏まで下落したこと、仲値前後にかけてドル買い優勢となり103.76付近まで上昇。しかし、前日からのドル安圧力も相応に根強く、午後に入ると前日安値を更新し103.36まで下落。終盤にかけては値を戻し103.59レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.59レベルでオープン。米大統領選の開票がまだ続く中、ドル安圧力が和らがず、下落幅を広げながら3月以来の安値を連続更新した。東京時間安値の103.36を下抜けると売りが一段と加速し、一時103.18まで下げ、103.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3124レベルでオープン。EUの通商交渉の進展など、特段材料が見られない中、全般的なドル安から堅調に推移し、1.3119レベルでNYに渡った。(ロンドンフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	菅首相が為替の安定は極めて重要との見方を示したものの、このレベルでは介入はないとの見方や、ジョージア州でバイデン氏がリードしたことが明らかになりドル売りの流れが継続し、3/12に付けた安値103.10に迫る103.18まで下落したドル円は、米雇用統計結果発表を控え下げ渋り、103.35レベルでNYオープン。朝方は注目の米10月雇用統計で、民間部門雇用者数変化が大きく予想を上回ったことから非農業部門雇用者数変化も予想を上回り、失業率も6.9%まで低下し、労働参加率の上昇、不完全雇用率も低下し、強い結果となったことから一旦ドルが買い戻され103.47まで戻す。しかしリスク志向からドル売りが強まり103.20まで反落する。その後はペンシルバニア州でもバイデン氏がリードし、一部で当確と報じられたことに対し、トランプ陣営がまだ選挙は終わっていないと話したことや、週末を控え株式市場で売りが優勢になったこともあり、ドルショートボジションをカットする動きにドル円は103.71まで戻す。しかしトロ-国家経済会議委員長がトランプ大統領、共和党のマコネル上院院内総務、ムニューシン財務長官も景気刺激をいまだ望んでいると話し、民主党のペロシ下院議長も景気刺激の協議に意欲を示したこともあり、ドル売りが再び優勢となり、103.25まで反落する。午後は103.22まで下落する局面もあったものの、週末を控え狭いレンジでの推移が続き、103.35レベルでクローズした。一方、ユーロドルはドル売りに昨日の高値1.1860を抜け1.1884まで上昇し、1.1876レベルでNYオープン。朝方は予想を上回る米雇用統計を受け一旦下押しするが、再びドル売りが強まり1.1891まで上伸する。株式市場が軟調に寄り付いたことから利益確定の売りが持ち込まれ1.1852まで反落するが、その後もドル売りに1.1890まで戻す。午後は週末を控え狭いレンジでの推移が続き、1.1877レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月6日	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 638k	580k
	22:30	米 失業率	10月 6.9%	7.6%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.1%/4.5%	0.2%/4.5%
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	9月 0.4%	-0.1%
11月7日	12:00	中 輸出/輸入(前年比)	10月 11.4%/4.7%	9.2%/8.6%
	12:00	中 貿易収支	10月 \$58.44b	\$46.30b

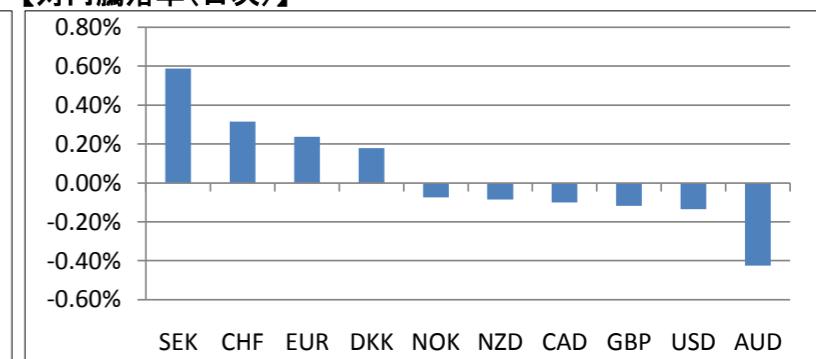
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月9日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	21:00	欧 メルシュECB専務理事 講演	-	-
11月10日	23:00	英 ホールデンBOE理事 講演	-	-
	03:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	07:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.80-103.80	1.1790-1.200	121.30-123.90

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は103円台で上値重く推移。米大統領選で激戦州であるジョージアでのバイデン氏のリードが報道されると、不透明感の後退によりドルが売られる展開となり103円台前半まで下落。雇用統計は市場予想を上回る結果となりドルの買戻しが見られたが勢いは続かず結局103円台前半での揉み合いとなった。

本日のドル円は、バイデン氏が当選となったが、ねじれ議会解消には難しい情勢のままで大胆な経済政策への転換は困難と見て下値を探る展開を予想。日銀の金融政策決定会合の主な意見の発表やECB総裁の発言が注目されるが、依然様子見ムードが継続する展開であろう。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村	ブル
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	7 14